報道関係者各位

RIA PARTNERS株式会社

PRESS RELEASE

蓄電池の開発用地はデータセンターに向くか。BLUEHOUR が「データセンター転用の見立て」を開始

― 接続検討の回答書と用地の条件から、進める価値があるかを決まった型で推論。協力パートナー（先着5社）は無料。データセンター用地の「買いたい条件」の登録も開始 ―

RIA PARTNERS株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋俊秀）は、系統用蓄電池（BESS）の案件の取引プラットフォーム「BLUEHOUR（ブルーアワー）」で、系統用蓄電池の開発用地をデータセンターの用地として進める価値があるかを推論する「データセンター転用の見立て」の受付を、2026年11月16日に始めました。あわせて、データセンターの用地を探している会社が条件を登録できる「データセンター用地の買いたい条件」の受付も始めました。見立ては、型を整える協力パートナー（先着5社）は無料、それ以外は個別にお見積りします。

データセンター転用の見立て：https://bhour.jp/dc.html（英語版 https://bhour.jp/en/dc.html）

■ 背景：接続検討の情報がある蓄電池の用地と、電気を探しているデータセンター

生成 AI の広がりで、データセンターの用地探しでは「電気をいつ・どれだけ受けられるか」が最初の関門になっています。一方、系統用蓄電池は、資源エネルギー庁の公表資料によれば、2025年12月末時点で接続検討の受付が約1億7,200万kWに達する一方、系統への接続済みは約64万kWにとどまっています※1。送配電会社との検討が進み、回答書が出ている開発用地が、数多くあります。

系統用蓄電池の接続検討の回答書には、電気を受ける向き（充電側）と送る向き（放電側）の判定、対策の工事、負担金、工期、有効期限が書かれています。データセンターは 24時間ほぼ一定に電気を受けるため、蓄電池の「充電」と同じ向きの情報が、データセンターの用地を考える手がかりになります。ただし、回答書はデータセンターに引き継げる権利ではなく、需要設備としては改めて申込と検討が要ります。用地がデータセンターに向くかどうかは、建物を建てられるか、回線、災害、期限などにも左右されます。

当社は、系統用蓄電池の案件の仲介やデューデリジェンスで回答書を読んできた経験から、この見立て（追加の調査を進める価値があるかの初期の整理）を「決まった型」で行い、方法をあらかじめ公開することにしました。対象は高圧（2,000kW未満）の用地で、大型のデータセンターの用地を示すものではなく、コンテナ型など小規模・分散型を含む立地の可能性を整理するものです。

■ 「データセンター転用の見立て」の特徴

01 止まる条件と見る要素を公開した、決まった型で推論する

回答書の有効期限・充電側の制約・用地の使用権原・建物を建てられる見込み・規模の5つを「止まる条件」とし、ひとつでも当たれば「いまは難しい」とします。止まる条件に当たらなければ、需要の向きの判定、需要として申し込み直したときの負担金・工期の向き、予備線、主要なインターネットエクスチェンジ（IX）までの距離、期限の残り、用地の広さ、災害の区域、周りの土地の使われ方、手続きの状況の9つを見て、「A 進める価値が高い」「B 条件付き」「C いまは難しい」「材料が足りない」のいずれかにします。型と見本の一枚は、BLUEHOUR のページでだれでも読めます。

02 推論の部分に印を付け、根拠と「確かめること」を書く

回答書に書いていないことを公開資料などから推し量った部分には「推論」の印を付け、根拠を書きます。送配電会社への事前相談、予備線、開発許可、農地の転用など、次に確かめることを一覧にし、向いているデータセンターの種類と、IT に使える量の目安を添えます（IX までの距離は回線の目安で、光回線の有無や通信の品質を示すものではありません）。一枚ごとに、作った人とは別の人が確かめてからお渡しします。見立ては接続の可否・費用・時期を保証するものではなく、価格や利回り、買うべきかについては扱いません。

03 データセンターの用地を探す会社の条件とつなぐ

データセンターの用地を探している会社は、欲しい容量・エリア・主要な IX からの距離・予備線・受電の時期・用途・買う／借りるを「買いたい条件」として登録できます。条件に合う見立てが出たら、運営からお知らせします（売り手の名前・用地の

場所はお知らせに書きません）。見立てを申し込んだ会社には、条件の合う買い手の数だけをお伝えします。

■ 利用の流れ

STEP 1 会員登録・法人の確認	STEP 2 見立ての申込	STEP 3 回答書の受け渡し	STEP 4 見立ての一枚
無料。会社のメールアドレスで登録し、法人の確認（1〜2営業日）	回答書の要点と用地のこと（使用権原・区域区分・地目など）を申告。地番は受け取りません（位置は緯度経度か図面）	運営から共有のリンクでの受け渡しをご案内（受付番号・相手方などは黒塗りで可）	回答書と申告がそろってから、5営業日をめどにマイページでお渡し

※ 対象は、高圧の系統用蓄電池の開発用地で、有効期限内の接続検討の回答書がある法人です。特別高圧の用地、複数の用地をお持ちの方、まとまった規模でデータセンターの用地を探している方は、個別にご相談をお受けします。

■ 代表取締役コメント

> 「系統用蓄電池の開発用地には、送配電会社との接続検討を経て、系統の条件や必要な工事の情報が得られているものがあります。一方で、蓄電池として進めるには条件が合わなくなった用地もあります。こうした用地が、電気を探しているデータセンターにとって意味のある選択肢になりうるかを、回答書の読み方と決まった型で整理し、売り手と買い手の双方が次の一歩を踏み出せるようにしたいと考えています。見立ては推論であり、最後に接続の可否を決めるのは送配電会社です。だからこそ、どこが推論で、何を確かめればよいかをはっきり書くことを大切にします。」
>
> RIA PARTNERS株式会社　代表取締役　高橋俊秀

■ サービス概要

名称	データセンター転用の見立て（BESS-to-Data-Center）
URL	https://bhour.jp/dc.html（英語版 https://bhour.jp/en/dc.html）
対象	高圧の系統用蓄電池の開発用地で、有効期限内の接続検討の回答書がある法人（BLUEHOUR の会員・法人の確認済み）
料金	見立ては、協力パートナー（先着5社・1社1用地・2027年3月末まで。有効期限内の回答書と用地の情報を提供し、結果の聞き取りに協力する会社）は無料。それ以外は有料（個別見積り）。データセンター用地の買いたい条件の登録は無料
お渡しするもの	見立て（A／B／C／材料が足りない）と理由、推論の印と根拠、確かめることの一覧、向いているデータセンターの種類と IT に使える量の目安、条件の合う買い手の数
運営	RIA PARTNERS株式会社

※ 見立ては BLUEHOUR の推論で、接続の可否・費用・時期を保証しません。接続の可否を決めるのは一般送配電事業者です。接続検討の回答書は、データセンターに引き継げる権利ではありません（容量を押さえる効力は、契約申込と保証金で生じます）。BLUEHOUR は、土地・建物の売買・賃貸の取り持ち（媒介）を行いません。見立ての料金は、BLUEHOUR の案件が成約したときのサービス利用料とは別のものです。

■ 会社概要

社名	RIA PARTNERS株式会社（RIA PARTNERS INC.）
代表者	代表取締役　高橋俊秀
所在地	〒107-0052　東京都港区赤坂5-2-33
設立	2021年1月29日
資本金	5,000万円
事業内容	BLUEHOURの運営、系統用蓄電池案件の仲介、事業性分析・デューデリジェンス、市場情報と事業性分析のプラットフォーム「BALEEN」の運営
URL	https://ria.jp/

本件に関するお問い合わせ

RIA PARTNERS株式会社　BLUEHOUR事務局

E-mail：press@ria.jp

BLUEHOUR

参考資料

※1　資源エネルギー庁「系統用蓄電池をはじめとする発電等設備の迅速な系統連系に向けた対応について」（2026年3月27日、資料1）p.3。一般送配電事業者の集計をもとに同庁が作成。接続検討のすべてが系統接続に至るものではありません。